

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2単位	メディアリテラシー	見城 美枝子	1年次	春

授業のキーワード	情報 表現 分析評価
授業の概要	情報を握るものは世界を握るといわれます。テレビ、ラジオの放送媒体、新聞雑誌の活字媒体、インターネットのサイト等、異なるメディアを通して、同一のテーマやニュースを読み解くことで、情報分析力、比較力、評価力を修得します。
期待される学習成果（目標）	映画も見ます。報道では放送されないものがエンターテイメントでは表現されていたりします。興味深いです。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	メディアリテラシーについて	メディアの種類、メディアの現状等、基礎的な知識を学ぶ。	第9講	人権と報道 犯罪報道と冤罪	松本サリン事件、足利事件、大阪地検特捜部主任検事正柳改さん事件等、犯罪報道における犯罪、冤罪について考える(1)
第2講	ニュースについて ニュースについて	気になるニュースを挙げ、その理由を考える。ニュースの歴史的背景や表現方法から報道の理想と現実を学習する。	第10講	人権と報道 犯罪報道と冤罪	松本サリン事件、足利事件、大阪地検特捜部主任検事正柳改さん事件等、犯罪報道における犯罪、冤罪について考える(2)
第3講	メディアの発言者 ディレクターと編集者 その1	同一の題材を選び、テレビディレクターの演出と書籍編集者の構成を比較する。	第11講	エイズをテーマに各メディアが発言する情報を比較分析評価する (1) テレビ、報道	テレビのエイズ報道を読み解く。新聞記事の分析評価。
第4講	メディアの発言者 ディレクターと編集者 その2	テレビ番組を視聴する。	第12講	エイズをテーマに各メディアが発言する情報を比較分析評価する (2) 書籍、PRと公共広告	ノンフィクションの分析評価、PRの表現方法や公共広告の情報発信の仕方の分析評価。
第5講	メディアの発言者 ディレクターと編集者 その3	書籍を読む。	第13講	エイズをテーマに各メディアが発言する情報を比較分析評価する (3) 映画	エンターテイメントだからこそできることがある。映画が発言する情報の分析評価。
第6講	メディアの発言者 ディレクターと編集者 その4	テレビ番組と書籍の比較分析、評価	第14講	地球環境に関するメディアの表現、情報発信	真実と現状をメディアを通して伝える。
第7講	新聞とテレビとインターネットの関係を読み解く (1)	新聞の紙面とテレビの画面、インターネット上の違いについて読み解く	第15講	まとめ	
第8講	新聞とテレビとインターネットの関係を読み解く (2)	記者、ディレクター、投稿者のそれぞれの目標、目的を読み解くことで、メディアの特徴を学ぶ	定期試験		テーマについてレポートする
評価方法		出席30%、授業の小レポート30%、レポート60%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
書籍等は随時知らせる			随時知らせる		